

# ナナミちゃんの農事通信

山梨県北杜市明野町で「雨と風と太陽と」  
「土と人情」に囲まれた。ナナミ  
おばさんの「私、土の子」奮闘記



秋桜と山並  
10/03撮影

## 「晴耕雨読」家作りは地元工務店

### 1 「カカと二人三脚で農作業だ」!! 「本当か」??

夫婦でログハウスを作って、赤松林の中でコーヒータムと夢見てログハウスメーカーを見学、キットハウス建設の手伝いにも行きました。教室の参加者は夫婦、親子や兄弟姉妹など全国から集まって手作りの意気込みで燃え、その中でもトトは経験豊かなセミプロのようでした。

山小屋や農機具小屋を作って経験と体力、知力と資金力OK・・・「ウッ」そうです「気力」が抜けたんです気力が。トトの言い訳は「家の前の道路が狭くてキットを積んだトレーラーが入らない」「傾斜地で基礎作りが大変」「娘とカカとトトでは材木が積めない」とか、止めは「ログハウスに一年半もかけるとカカの農作業が手伝えない」ですって、エーイいくじなし「屋根から落ちて背中を打たずに、頭を打ったか」建築方式は、暖房は、とカタログ集めに夢中。「家作りは地元工務店だ」とインターネットでトトはケンサク君に変身。



外装は、内装は。暖房はOMソーラで決まり

2000.05夫婦で体験



・トトの定年退職後にログハウス建設を目的にキットメーカーの建築体験教室に参加。傷害保険に入って手弁当で山梨県を中心に数カ所、手伝いに行った。

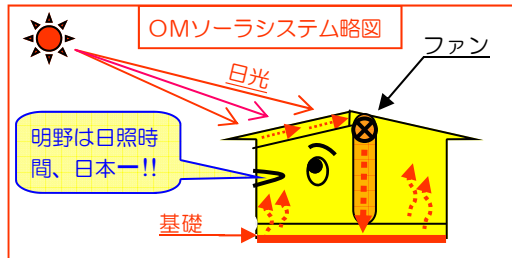
2000.04建築中

2000.10手伝

2001.06



・山小屋、友達の物置新築を手伝い。農機具小屋も建てた。これで定年後はログハウスの建設だ!!...の、はずでしたが?? それでどうなった。なんなのヨ。



・冬季は-8度ぐらになるので「冬暖かいエコシステムは?」⇒自然エネルギーの日光で屋根と天井の間の空気を温め、基礎コンクリートに蓄熱。床を暖め噴出し口から暖気を室内へ放出。昼間は20度以上に

### 2 「山口工務店」は田舎暮らしの友

山梨県のOMソーラ施工店をさがし、見学説明会に参加、行くたび室内が暖かくないのです。一年間で何ヶ所も見ましたが、今一つピッタリこないまま、雨で農作業を休んで見学会に「客は私達だけ、さみしいナ」。希望プランを話し始めるうちに「私達の土地を見てください」と自然に依頼していました。それが山口工務店でした。

「見学説明会場の家の価格が私達に合った」ことと、「説明者の山口専務の朴訥な人柄が気に入った」のです。施工品質が良かった事は、もちろんです。トトは気難し屋ですが、一旦気に入ると「あの人のためなら」で、農事通信も山口専務のためかナ

2004.10外壁工事



山口工務店は自然に囲まれていた



工務店の人達は田舎暮らしの達人!!

2004.07棟上

2004.11弁柄

2005.01完成



・カカでバー、一家の「大黒柱はトトだって」。暖房は薪ストーブ・田舎裏・掘り炬燵・・・OMと愛か??  
・山小屋は残った。トトの隠れ家が左奥に

## 目次

「晴耕雨読」 家作りは地元工務店 1「カカと二人三脚で農作業だ」!! 「本当か」??	1
2「山口工務店」は 田舎暮らしの友	1
3「分かんなくなっちゃった」?? 秋冬野菜のこども達!!	2
4 お味は「どお」? 「どおなのヨ」!!	2
5 人情四方山話 「おじさんと私達、田舎人」	2

## ハイライト

・何やかやと雑用で一週間過ぎ、7号を東京にいる二日間で仕上げる羽目に、今は一日目で1ページを作成中。「アー才能が無い」やはり屋根から落ちて、背中だけではなく頭も打ったのでしよう。

私は気難し屋でガンコ、でも惚れこむと一途「カカは幸せだ」そんな訳で山口専務が「田舎暮らしセミナーをやりたいです」と言われるなり「いいですね我が家でどうぞ」。それでは農事通信を作って野菜会員の皆様に日頃の活動報告やセミナーにとスタートしました。

本当は以前に松本市浅間温泉のお気に入り宿の女将から「農業や旅行のホームページを作られたら」と言われてはいたのですが。

### 3 「分かんなくなっちゃった」?? 秋冬野菜のこども達!!



### 4 味は「どお」? 「どおなのヨ」!!

2週間に一回の発行なので、野菜を収穫してから調理、これを食べ「うまい」早速写真に、記事にとバタバタしているうちに食材にした野菜の旬が終わりに。では「ナナミちゃんの簡単クッキング」!!!

#### ①写真「玉葱と人参の生ハム手巻きサラダ」

・スライス玉葱と千切り人参を混ぜ合わせ皿に盛り付け、薄切り生ハムをのせる。この上に赤ピーマンなどを散らし、中心にルッコラのみじん切りを添える。ドレッシングはお好みで。

#### ②写真「茄子のはさみ揚げ」と甘辛煮

・茄子を半分に切り、具が挟めるように包丁を入れる。具は

ひき肉・玉葱のみじん切り・パン粉に塩コショウで味付け良く練る。茄子に挟み衣を着けて天ぷらのように揚げる。付けタレはソースや醤油などお好みで。砂糖、醤油などで甘辛く煮付けてもおいしいです。



①写真 ルッコラにはまると大変



②写真 甘辛は弁当の友

### 5 人情四方山話「おじさんと私達、田舎人」

「押しかけ手伝い隊」の出動だー!!とばかりに、今回はお米を分けてもらっている農家に穂かけ(稲干し)作業と脱穀作業の手伝いに行きました。

「稲わらの香りにムセ」トトもカカも子供の頃に戻ったようでした。おじさんもおばさんも私達より約二十歳も年上、そこで東京を一日早く出て「おじさん、稲作農業研修に来たゾ」と夫婦で朝から押しかけた。前もって言うておくとお茶や昼食の用意など、いらぬ気遣いをさせていただきます。こちらは「何が何でも、手伝いタイ」ですから。

おじさんも、おばさんもゆっくりとした話し方で時々面白いことを話す。大笑いしながら農作業は続き楽しい。

見渡す限りの田んぼ、遠くの山並みと近くに集落が見渡せる。隣では最新式のコンバインが稲刈りと脱穀を同時に行いながら独楽鼠のようにせわしげに動いている。でも、おじさんの脱穀機は年季が入って、ゆったりと働いている。



・畑が近いので、おじさんの家から脱穀機を運転して来た。「のどかダ」なんだか私も田舎人。道端で手弁当の昼食、遠足気分。「おじさん俺達夫婦の方が気が合うから脱穀はまかせて」トトとカカの最強コンビで脱穀。お土産にサツマイモ。翌日、稲ワラを山のように届けてくれた。